



デマンド型乗合タクシーの存続と 制度拡充を求める請願書

請願第 2 号



2019年5月27日

かすみがうら市議会議員 加田豊治 様

請願者

〒

連絡先

石井 ひろえ

2983

ほか 3105

名

紹介議員

矢口 龍人

紹介議員

佐藤 文雄

紹介議員

設楽 健夫

紹介議員

沼田 謙

【請願趣旨】

昨年3月に本市がまとめた「かすみがうら市地域公共交通再編実施計画」によれば、公共交通改善の一環として、「神立駅～神立病院～千代田ショッピングモール～神立駅～土浦協同病院」ラインの路線バス新設が図られる一方、「デマンド型乗合タクシーを2019年度で廃止する」とし、「タクシー利用助成事業に転換する」としています。後者の計画は、次に指摘する重大な問題を包含するものであり、私たちの要望とかけ離れていると言わざるを得ません。①対象者が限定される（＊市内居住者、＊60歳以上者、＊自動車運転免許を持たない者、＊要介護高齢者等福祉タクシー利用者でない者）こと。②代替的案とする「タクシー利用助成事業」は、1回に500円（6枚/月、72枚/年）の助成であり、これまで1回400円（65歳以上者等200円）で乗車できたデマンド型乗合タクシーと比べ大幅に自己負担が増えること。

高齢者に限らず、交通不便者にとって重要かつ貴重な足となる「デマンド型乗合タクシー」は存続の上、制度を拡充されるよう強く要望します。

【請願事項】

1. 「デマンド型乗合タクシー」を存続すること。
2. 霞ヶ浦地区と千代田地区の地域区分を外し、市内を一体的に稼働すること。
3. 1回の乗車運賃を現行（400円・200円）からかけ離れたものにしないこと。
4. 稼働時間の拡幅（特に朝の時間帯）を図ること。